



District 76, Region 9 Newsletter

District Director: 中保篤彦からの現地レポート

クラブメンバーの皆様にお送りください。

アナハイムで行われたトーストマスターズの世界大会にDistrict76からTRIOが参加してきました！現地での体験など、ほやほやの情報をお届けします！

世界大会報告

District Leader Training終了後



100周年記念ブースにて



Region Advisor Ivan Liuさん



Region 9のメンバー



8月12日から18日まで米国カリフォルニア州アナハイム市で開催されたディストリクト役員研修と世界大会に参加しました。

ディストリクト役員研修は1月に開催されるmid year trainingも含めて4回目になり、旧知のトリオとの再会を祝いながら、前期を一緒に振り返ったり、来期の施策についての意見交換を通じて良い仲間に囲まれている事を再確認しました。



また理事会からは今期から下記の優秀プログラムが設けられたとの発表がありました。

- Smedley's Distinguished Club メンバー数 25人 DCP 10
- Smedley's Distinguished Districtが 純クラブ増加率 8% 純会費増加率 8% 優秀クラブ割合 605

President's Membership Renewal Award 受賞



前々期に続き前期もPresident's Membership Renewal Award を受賞しました！

D76はメンバーシップの更新率が72.15%と世界で最も高く、常に世界の注目を浴びています。



Program Quality Director: Stefano Spilloからの現地レポート

世界大会(International Convention)の一番大きなイベントは世界チャンピオンを決めるスピーチコンテストと言っても過言ではありませんが、コンテスト以外にも様々な教育イベントやビジネスミーティングが開催されます。そこでもっとも重要な会議がABM(Annual Business Meeting、ABMでトーストマスターズという組織のトップに立つ役員を決める役員選挙が実施されます。



International Directorの選挙活動の一環として、カンファレン中にCandidates' Cornerというブースが設けられており、組織の中核となるリーダーにDistrict76の会員の声を聞いてもらえる、貴重な機会として、数多くのInternational Director候補者との面談の時間を頂き、以下の点を中心にフィードバックさせて頂きました。

- CCマニュアルからPathwaysへの移行に対する不満の声がまだ多い（私も今期PQDとして、より多くの会員に教育プログラムを活用して頂けるよう、いろんな取り組みや研修を実施する予定ですが、他ディストリクトの成功例について

ヒアリングしました)

- 会費の値上げに対する不満、円安や物価上昇によるクラブ運営への影響
- 新Learning Management System (LMS)の言語に日本語が含まれていない・日本語クラブへの対応: 前期PQDのTM中保が国際本部から翻訳チームの設立の許可を得たようですが、私が今期そのプロジェクトを引き継ぎ、国際本部に問い合わせたところ、返答がなく対応に苦戦してるので、新LMSで対応していない言語の方針についてもっと明確にしてほしいことを伝えた
- 国際本部のサービスレベルの低下



- クラブの平均会員数が減少する中、質の高い例会とクラブ運営を保つことに苦戦しているクラブが多いため、コロナ後反発して右肩上がりのディストリクトの成功例の情報共有
- 世界中のDistrictのオンラインから対面への移行について、色々なDistrictに確認をしたところ、Districtにより状況が異なり、まだパターンがつかみにくい

一方で、International Directorの方がどこに重点をおいて今後組織の運営に携わっていくのかをという問い合わせに以下の回答を頂きました。

- 会費以外の収入の源泉の検討。将来追加的な会費の値上げを避けるよう、企業との提携、スポンサーの獲得、企業研修へのスピーカーの派遣などを模索
- サービス向上、スタッフの教育育成、アジア時間での対応の強化
- クラブ設立手続きの効率化(クラブをCharterする時間が長いという問題が意識されておりその対応を検討中)
- 若手のメンバー獲得と若手リーダーの育成
- もっとビジネスの視点で組織の運営に取り組み、会員の満足度向上目標とする

新規LMSのデモ

世界大会では新しいPathways (New LMS)の簡単なデモを行うブースも設置されておりましたので、そこで可能な限り情報を収集を行いました。

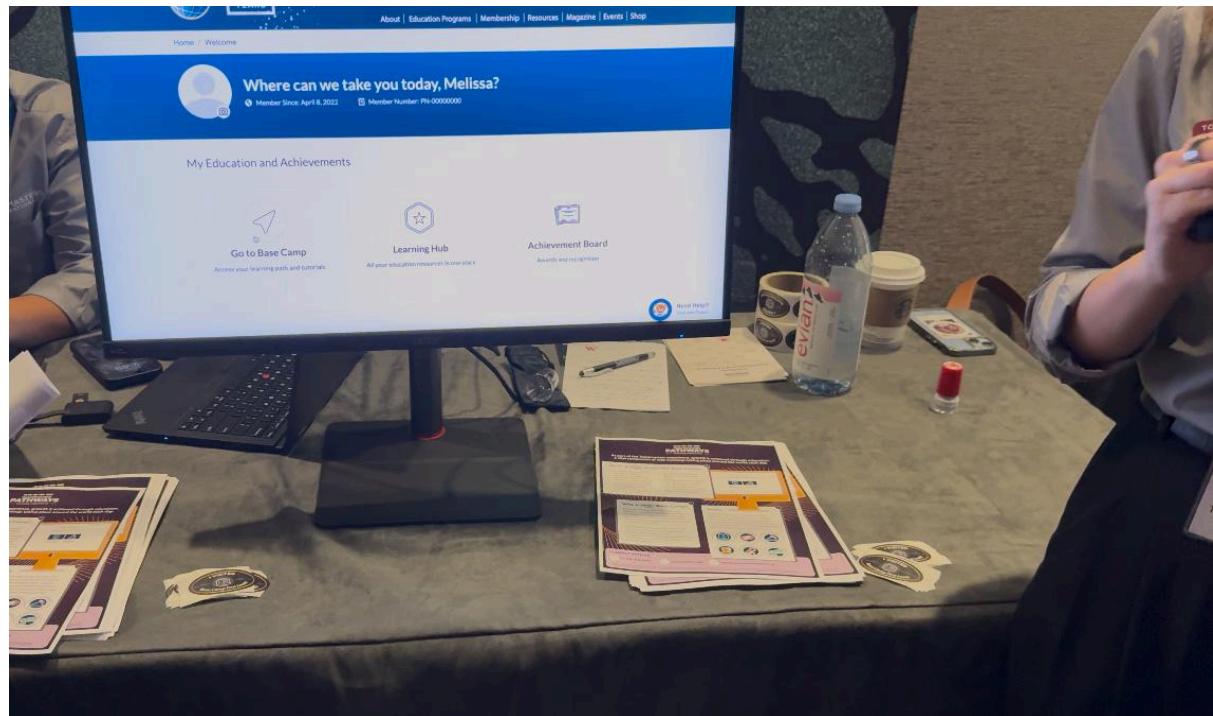
- 新規LMSのリリースは10月に予定しているが、具体的な日付は未定
- 新規LMSに対応しておる6個のパスが新しUIに切り替わるとのこと、切り替えは自動的に行われる
- メリット: PathwaysのBaseCamp画面を通さずに、パスの承認が可能(Club CentralとBaseCampで申請する二度手間が省ける)
- PathのNavigation画面がもっと分かりやすくなった
- スピーチのコメント機能のエンハンスが期待できる
- 論評用紙を論評者にUIを通して送付できる機能が追加された(PDFをダウンロードしてメールで送付するフローをなくす目的)

今後国際本部より新LMSの情報が入り次第、会員の皆さんに速やかに発信します。10月予定通りリリースが実施された場合、臨時で会員向けに研修を実施いたします。



当日配布されたフライヤー(写真を以下のドライブにアップしてます)

[https://drive.google.com/file/d/1PREqzm12MJO6obel3tN9KsqRQWTwzJ0m/view?usp=drive_sdk](https://drive.google.com/file/d/1PREqzm12MJO6obel3tN9KsqRQWTwzJ0m/view?usp=drivesdk)





Club Growth Director: 田中 真幸からのお知らせ

各国のCGDとの交流で得た気付き

コンテストに先駆けて、2日間のDistrict Leader Trainingが開催されました。世界各国からあつまつたDistrict Leader (District Director, Program Quality Director, Club Growth Director)が交流、ディスカッション、グループワークなどをおこなう盛りだくさんの内容でした。

最初のセッションはおそらく数百人はいたであろうDistrict Leader全員が大きなホールに集まり、「この会場のなかで、自分と共通点のある人を見つけてアイスブレークをする」という超内向的な私にはとても厳しい内容でした。正直なところ、始まった瞬間から「早く終わらないかなー」と思っていました。とはいえ、何回か繰り返していると、次第に「相手をみつけるコツ」「話しかけるコツ」が見えてきてゲーム感覚で楽しんでいる自分に気づきました。「コンフォートゾーン」から一歩踏み出す重要性、「トーストマスターズは安全に失敗できる場所」という基本に気付かされたセッションでした。(陽キャの海に一人放り出された陰キャ。それはまるでアニメの「弱キャラ友崎くん」の友崎くんになった気分でした)

CGDの集まるセッションでは、「会員の減少」「クラブ数の減少」など、具体的なシナリオをもとに、どのような施策が有効かを各国の事例をもとにディスカッションをおこないました。一つの大学に20以上のクラブを設立したクリエイティブなアイデアや、Districtが複数の国と言語に跨っていることによるチャレンジなどが共有されました。District 76は日本のみかつ日本全体で構成されているので、これは今期の施策を考える上でのアドバンテージになり得ると考えています。





Plus One Pledge

大会の中で「Plus One Pledge」というプロジェクトのアナウンスがありました。

トーストマスターズの次の100年に向けて、まずは「会員一人一人が少なくとも一人のゲストを例会に呼ぼう」という宣誓をしようというプロジェクトです。私も会場でサインしてきました。オンラインでも宣誓できますので皆様もこちらのリンクから宣誓をお願いします。

<https://www.toastmasters.org/Events/Centennial/CentennialPlusOnePledge>

宣誓するだけではなく、ぜひゲストの招待もお願いします。

(まずは私自身がゲストを招待しないですね)